

2018年まちづくりへの思い

明けましておめでとうございます。気持ち新たにご家族おそろいで新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

2017年は、秋谷公園遊歩道の木橋整備が協議会委員、地元住民のご協力で完成しました。また、夏まつり・歳末の軽トラ市開催・あつまっ亭の駅前朝市と場所を変えての朝市開催、福祉送迎車運行、黒田庄つうしん発行、新規事業としてインドヨガ教室・まちづくりリーダー育成講習会を行いました。自治会では、高齢者コミュニケーションの機会提供など、まちづくり協議会の活動費をうまく使ったの取り組みにご尽力頂きました。

今年は秋谷公園遊歩道の高木植栽、JR加古川線利用促進協議会の助成枠があれば、JRを利用したウォーキングの実施、また、コミセンや空き施設等の活用については、交流カフェ、屋外広場の芝生張り、室内にボルダリングの設置、高齢者向けには輪投げ、ボールボード、幼児向けに大型積み木、絵本の充実などが考えられます。

高齢者の健康維持や心豊かな子どもの育成のため、こども園の休園日、学校の休校日にボルダリングや屋外遊具・芝生広場で子どもの歓声が聞こえる場所に活用できるように検討したいと思います。

実施に向けては、解決しなければならない事柄が山積みですが、挑戦の年として出来ることからやっていきましょう。

(黒田庄まちづくり協議会会長 長谷川俊雄)

ご来光登山 黒田庄野外活動協会主催

前日は、小雨模様の天気で見えなく、天気予報もご来光は期待薄の情報でした。翌朝4時半ごろは、霧が深く暗い登山道に行く足元は、霧や前日の雨でズボンの裾を濡らしながらの登山でした。皆さん、ご来光を拝めるか心配しながらの登山でしたが、山頂では焚き火をしながら幻想的な雲海に包まれた山々と、除夜の鐘が遠く聞こえてくる里を眺めながら、陽が昇ってくるのを待ちました。

いよいよ西光寺山の上から昇るご来光の瞬間、参加者それぞれ「おめでとう」で合掌し、本年が良き年でありますように祈念しました。下山後は美味しい「お雑煮」で身体を温めてもらいました。

今回は適度に雲があり、ここ数年の中では本当に素晴らしいご来光を拝めました。前日の天候状況で参加者がやや少なかったのが残念でしたが、前坂コース、黒田コース、スタッフ合わせ、老若男女53名のご来光登山の参加をみました。



第140号1月



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
平成30年1月15日発行



黒田庄地区の人口

(H30.1.1現在)

男 3,344

女 3,580

計 6,924

世帯数 2,630

人口前月比 (-9)

(2)

元旦走ろう会 黒田庄スポーツ振興会主催

新春にふさわしい天候に恵まれ、恒例の元旦走ろう会を黒田庄グラウンドより兵主神社往復3kmのコースで行いました。

元旦走ろう会開始以来毎年参加されている方、ふるさと黒田庄に帰省されている方や、ご来光登山を終えてから参加された方など50名程参加されました。兵主神社の絵馬、ぜんざいのふるまいがあり、健やかで笑顔の絶えない1年であることを誓い合いました。参加くださいました皆さん、ありがとうございました。



黒田庄まちづくり協議会より

秋谷公園遊歩道整備完成

「観光レクリエーションづくり」の一環で行いました、秋谷公園遊歩道の木橋の改修については、去る11月4日に現行橋の解体作業が終わり、その後、関係者により新しい木橋の設置作業が行われ、この度完成しました。

一度、秋谷公園の散策やウォーキングに行かれてはでしょうか。

(産業・観光部会)



第7回黒田庄軽トラ市

黒田庄まちづくり協議会の黒っこふれあい広場利活用(黒田庄軽トラ市)実行委員会では、去る12月24日(日)の午前9時から午後1時まで、黒っこふれあい広場(旧黒田庄町役場跡地)において、「第7回黒田庄軽トラ市」を歳末恒例「喜多市」と同時開催しました。

マーケット出店(軽トラ出店、テント内での出店)では、お正月飾り、お正月用品、地元野菜、黒っこ巻、黒豆パン、お餅、黒豆コロッケ、うどん、おでん、焼きいもなどの販売がありました。

芝生広場では、風船で動物が作れるバルーンアート、わた菓子やポップコーンがあり、子どもたちに好評でした。また、西脇工業高校陸上部女子が全国高校駅伝競走大会に出場しましたので、会場でテレビ中継を行い応援しました。

当日は、好天に恵まれ約800名の来場者があり、旧黒田庄町中心地の賑わいづくりができました。

(交流・学習部会)



軽トラでの販売



テントでの販売



バルーンアート



虹の会 工房だより

あけましておめでとうございます



初春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
旧年中は、虹の会工房の活動にご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

職員・工房利用者一同

障がい者がごく普通に地域で暮らし、地域の一員として共に生活できる実現の理念の下に、全ての事業主には法定雇用率以上の割合で障がい者を雇用する義務があります。2018年4月から精神障がい者の雇用義務化に伴い法定雇用率が2.0%から2.2%に引き上げられます。また事業主の範囲も50人以上から45.5人以上に変わります。2018年は障がい者にとって少し明るい年になりそうです。今年も工房利用者さんの技能や生活機能が向上するよう私たちも一層努力してまいりたいと思います。

ありがとうございました！

西脇大橋ラーメン様

もう20年来にもなる恒例のお招きをいただき、西脇大橋ラーメン様においしいラーメンをご馳走になりました。外食の機会がなかなか持てない工房利用者さんにとって、とても楽しいひと時でした。

ありがとうございました。
(12月13日)



おたのしみかい

昨年末の大掃除の後に皆で「おたのしみかい」をしました。生活介護の皆さんのトーンチャイムとベル演奏、就労日の皆さんのベル演奏、そして全員での手話歌(翼をください)やカラオケ。最後にはお楽しみプレゼントもあってとても楽しい会になりました。福祉センターのエントランスホールが笑顔と笑い声でいっぱいになり、来る平成30年を和やかに迎える準備ができました。



【お楽しみ会】

初詣

皆で兵主神社、船町蛭子神社に参拝しました。一人ひとり神妙な顔つきで願い事を唱えました。支援員も工房利用者の皆さんが1年間健康で活動されますようお願いしました。



【船町蛭子神社】

お礼

- ◎西脇市社会福祉協議会より年末にご寄付並にプレゼントをいただきました。
- ◎クリスマスには多くの方にお菓子を買っていただきました。

ありがとうございました。

※バレンタインデーのお菓子のご注文をよろしくお願いします。

[※切 2/7]

TEL28-5128



黒田庄の巨木シリーズ(4) 福地 御霊神社のシノキ(ツブラジイ)

福地の集落を抜けた先の山裾に御霊神社が鎮座しています。鐘楼から始まる参道を進むとバリケードで根元を囲まれたシノキの巨木(幹周り3.7m)が出迎えてくれます。鳥居をくぐると、そこにはシノキが中心となった照葉樹林の社叢が展開しており、境内を流れる清水と相まって厳かな雰囲気醸し出しています。さらに一本の巨木、株立ち(幹周り2.9m+2.2m=4.1m)が右手の林の中にありました。

シノキの特徴は、葉は先が細長く、裏面は褐色であり、春にはブロッコリーのような淡黄色の花を咲かすことです。これはスタジイとツブラジイに分類されますが、中間種もあり区別しにくいのですが、スタジイは海岸部、ツブラジイは内陸部に分布する傾向にあり、果実が小さく丸みを帯びていますので、ツブラジイと判断しました。

ツブラジイはスタジイに比べると、寿命も短く巨木も少ないようです。

* 照葉樹: 夏期に多雨の温暖帯の常緑広葉樹。冬の寒さに耐えられるように葉は小さく厚い。葉の表面の照りが強い樹種が多いためこのように呼ばれる。

* 社叢 (しゃそう): 神社において社殿や神社境内を囲うように密生している林。



鳥居の前



林の中の株立ち

西脇市老人クラブ連合会芸能発表会開催

西脇市老人クラブ連合会若手委員会主催による芸能発表会が、来る1月26日(金)の午後1時から、西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館(黒っこプラザ)において開催されます。

この芸能発表会は、出演者の芸能を、お楽しみいただくと共にクラブ会員の相互の「ふれあいの場、交流の場」として開催されます。市内8地区からカラオケ・舞踊など33組が出演され、黒田庄地区からは6組の出演者があります。

同時に、東日本大震災支援並びに友愛活動チャリティバザーとして、日用品・手作り品・野菜などの販売があります。クラブ会員さんのみならず、一般の方も是非お越しください。

編集後記

黒田庄は、わたしの“ふるさと”になりました。

52年前にはじめて黒田庄に来て、22年前に自然豊かなこの地をこどもの故郷にしたいと思い、移り住みました。こどもたちは毎日家の周りの草むらで様々な野草や草花を摘み、山で木いちごや木の実を見つけては大喜び。山の中に沈む夕日や、夏の夜のホタルや星、静かな家々の灯りを眺めては「きれいやなあ」。また目の前をリスが飛び、庭に野ウサギがやって来て、道を行けば、猪、鹿、狐、狸等に出会い、木の上にいる猿を熊と間違えて大騒ぎしたり…。こどもと共に過ごした日々は、黒田庄をすっかり私の“ふるさと”に変えました。

(R. A)